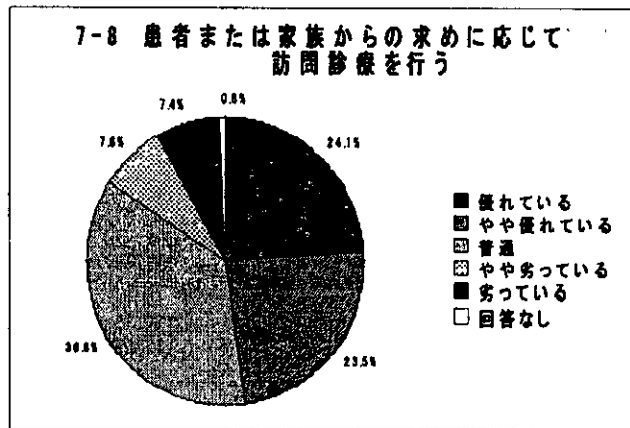


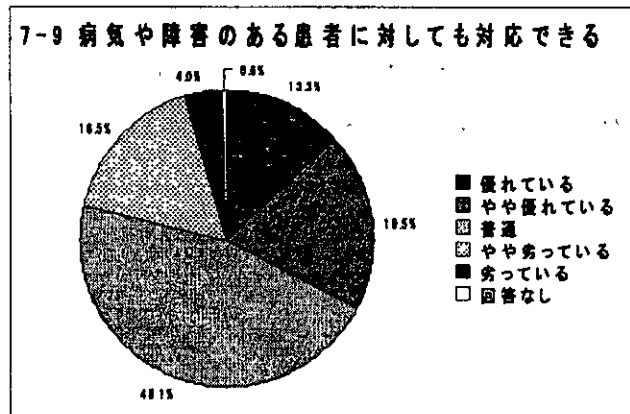
設問 7-8

患者または家族からの求めに応じて
訪問歯科治療を行う。



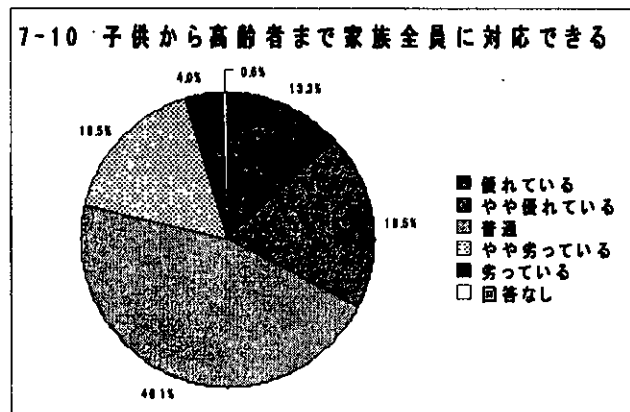
設問 7-9

病気や障害のある患者にも対応できる。



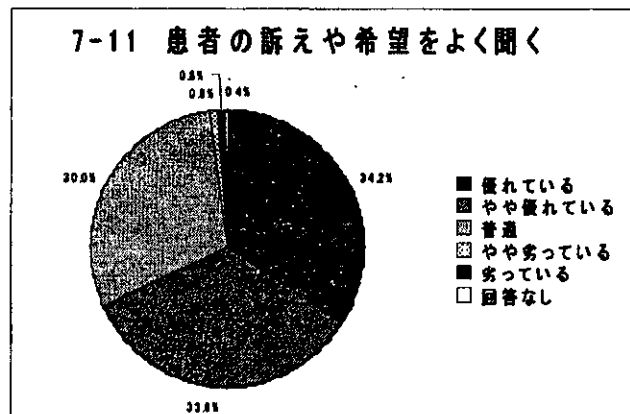
設問 7-10

子どもから高齢者まで家族全員に対
応できる。



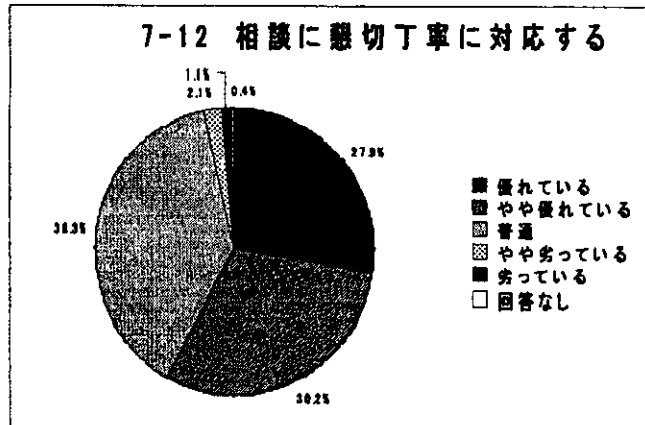
設問 7-11

患者の訴えや希望を良く聞く。



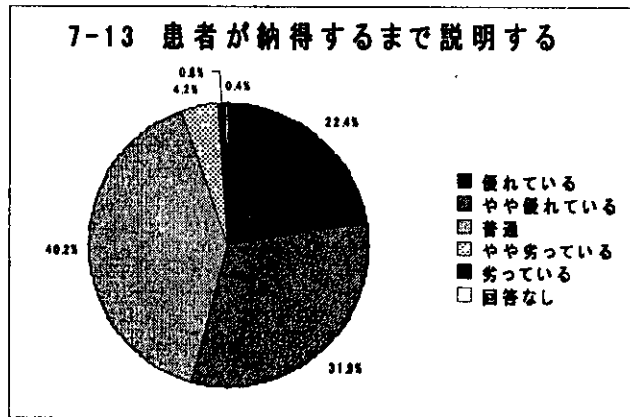
設問 7-12

歯科疾患や義歯等の相談に電話も含めて懇切丁寧に対応する。



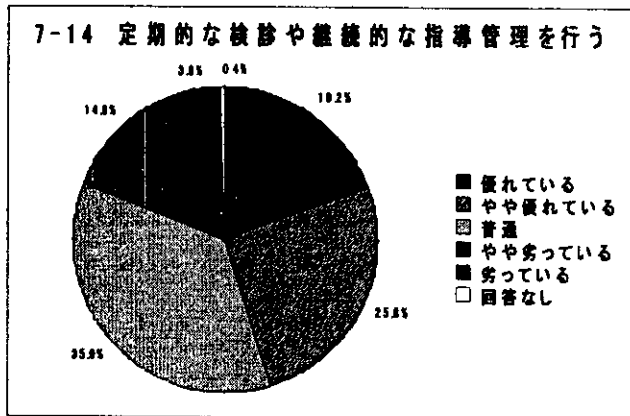
設問 7-13

処置、指導、薬剤等の内容を患者が納得するまで説明する。



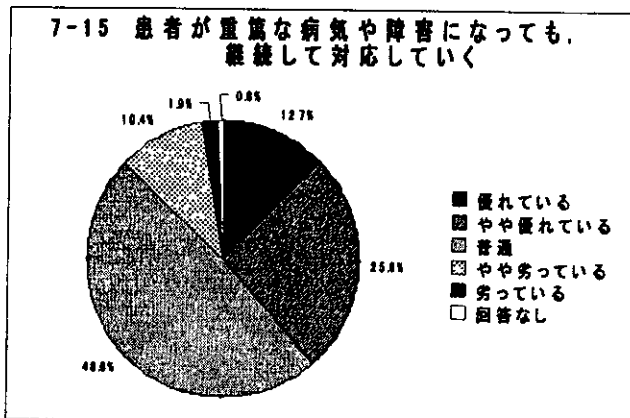
設問 7-14

定期的な検診や継続的な指導管理を行う。



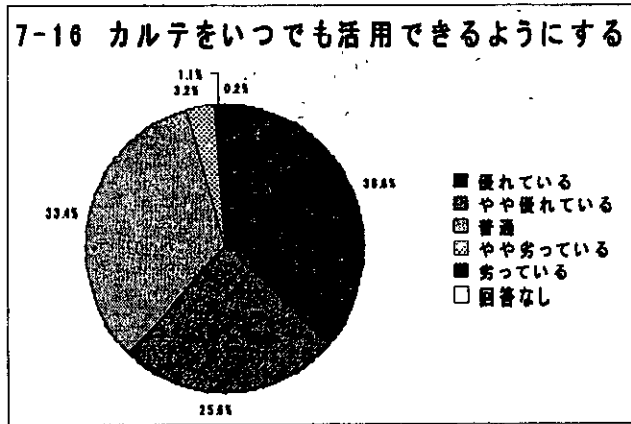
設問 7-15

患者さんが重篤な病気や障害になっても、継続して対応していく。



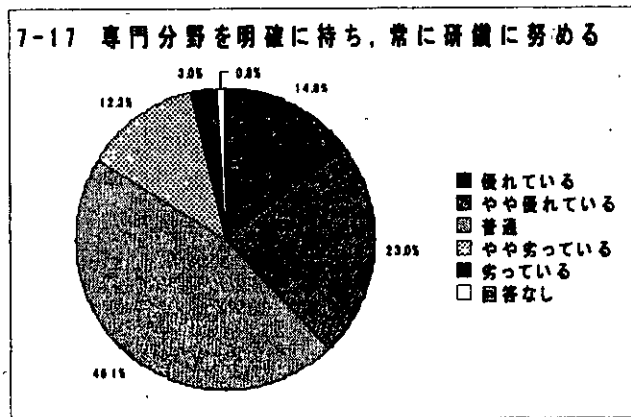
設問 7-16

病歴(カルテ)を長期間保存し、いつでも活用できるようにする。



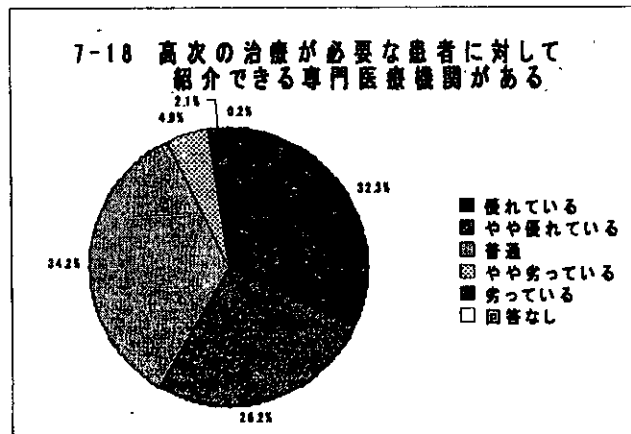
設問 7-17

専門分野を明確に持ち、常に研鑽に努める。



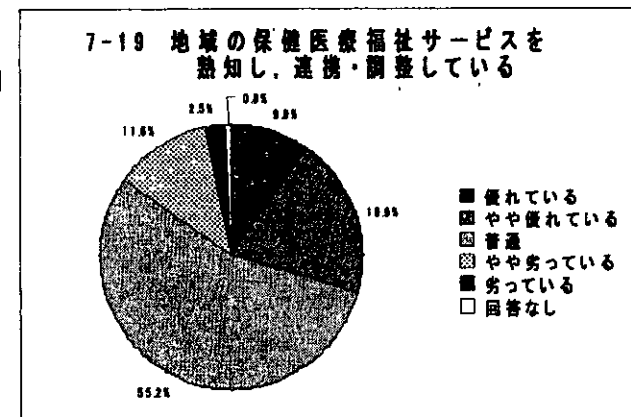
設問 7-18

高次の治療が必要な患者に対して紹介できる専門医療機関がある。

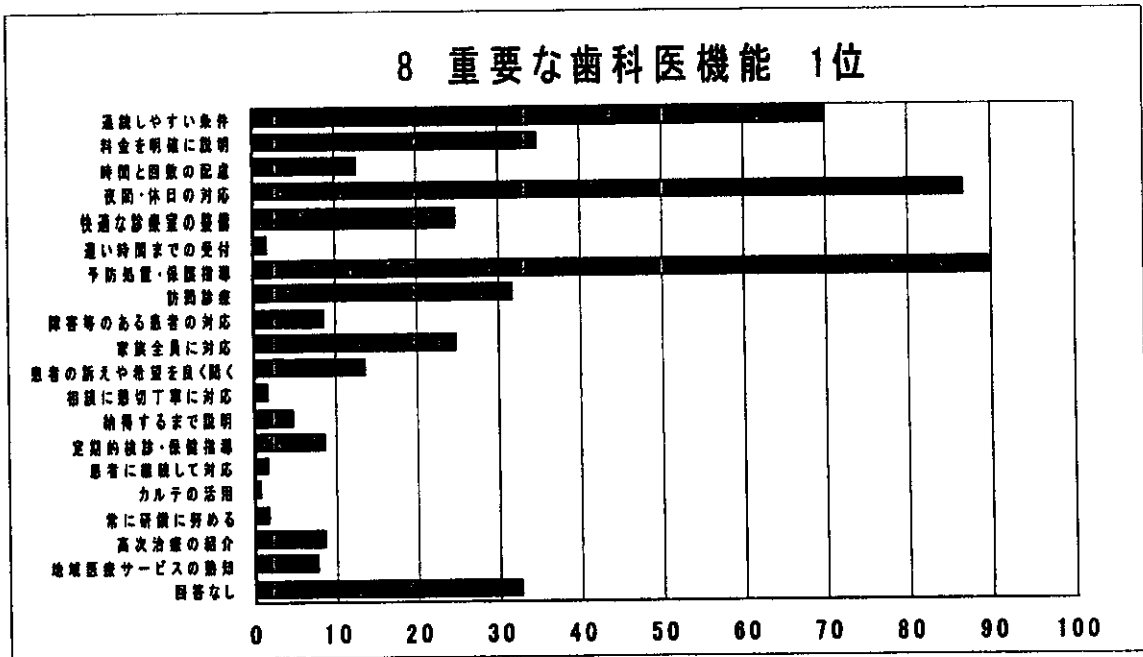


設問 7-19

地域の保健医療福祉サービスを熟知し、連携・調整している。

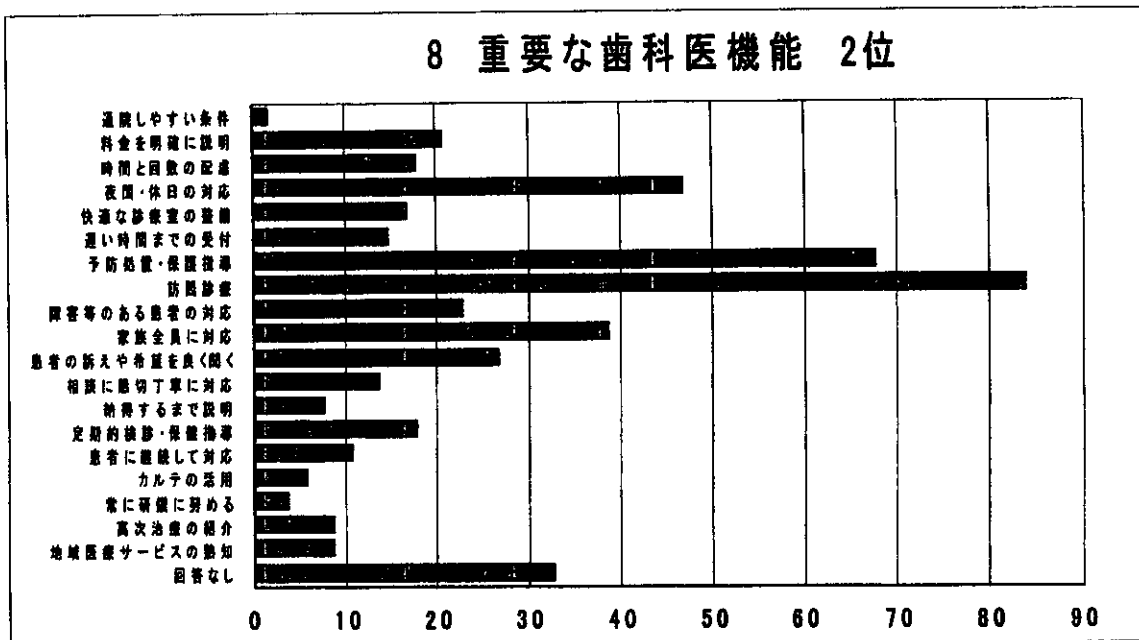


8 質問(7)で1)～19)のうち将来に向けて最も重要と思われるかかりつけ歯科医機能を5つあげて下さい。



【結果】

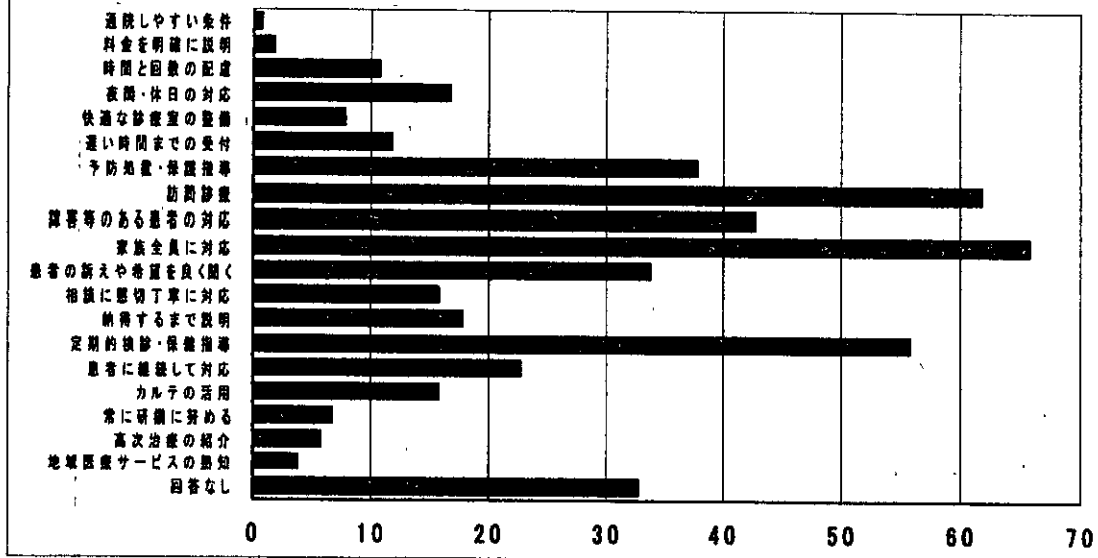
かかりつけ歯科医として重要な機能の1位として、「予防処置・保護指導」、「夜間・休日の対応」、「通院しやすい条件」が高位にあげられた。



【結果】

2位では、「訪問診療」、「予防処置・保護指導」、「夜間・休日の対応」が高位にあげられた。

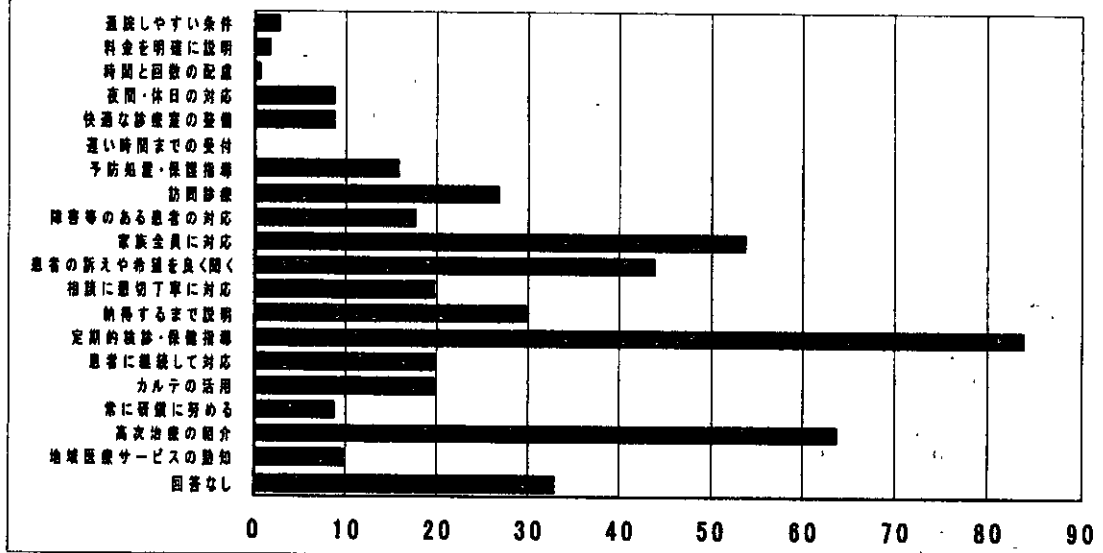
8 重要な歯科医機能 3位



【結果】

3位では、「家族全員に対応」、「訪問診療」、「定期的検診・保健指導」で、次に「障害等のある患者の対応」があげられている。

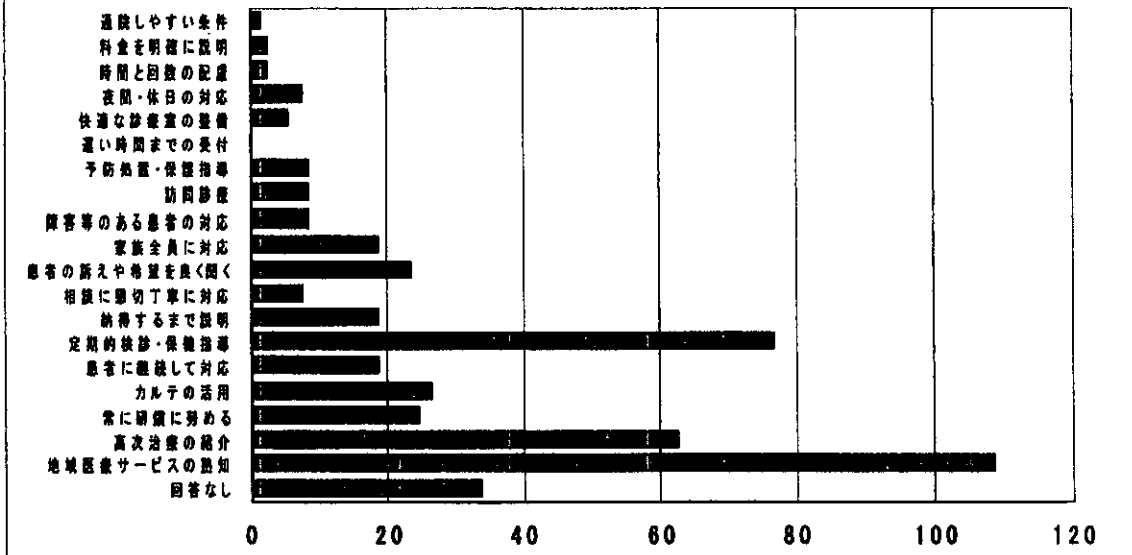
8 重要な歯科医機能 4位



【結果】

4位では、「定期的検診・保健指導」、「高次治療の紹介」、「家族全員に対応」があげられている。

8 重要な歯科医機能 5位



【結果】

5位では、「地域保健サービスの熟知」、「定期的検診・保健指導」、「高次治療の紹介」の順であった。

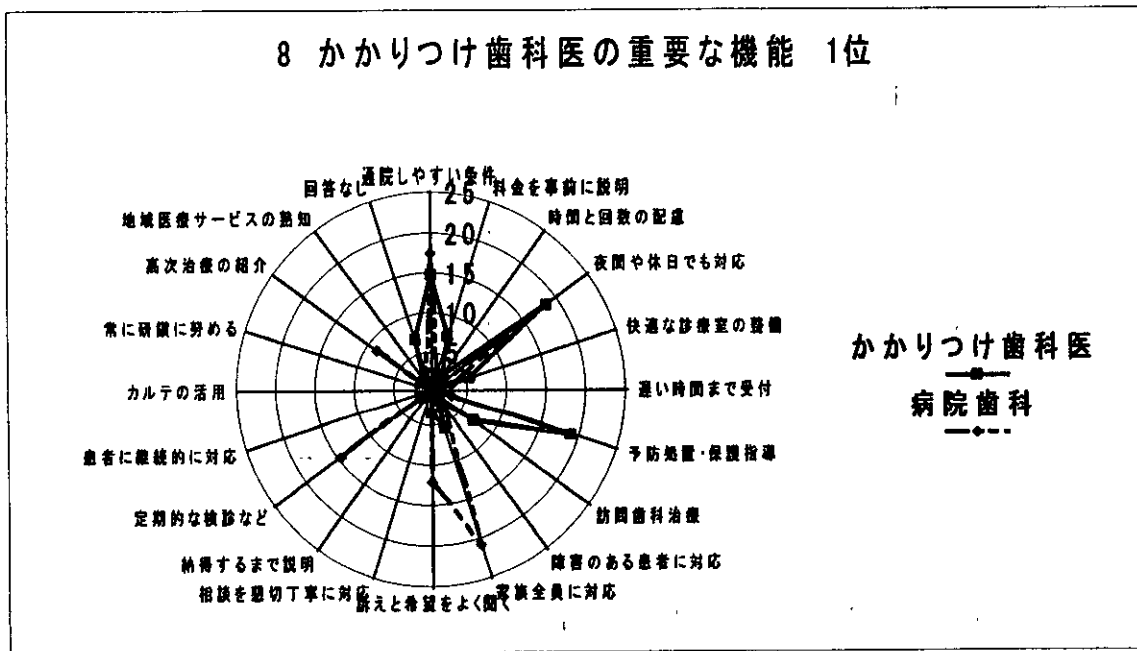
【考察】

1. かかりつけ歯科医では、1)～19)まですべて「優れている」、「やや優れている」、「普通」との回答が大部分を占め、これらに努力していることが伺える。将来に向けては、さらに一般診療部門の機能を重視しながらも、高齢者、障害者、全身疾患を有する患者への対応や長期保存カルテの活用、高次医療機関の紹介は将来の重要な機能として上位にあげられない傾向にあると思われる。

2. 介護保険制度が実施される現在、在宅医療に対する関心は高まっていると思われる。

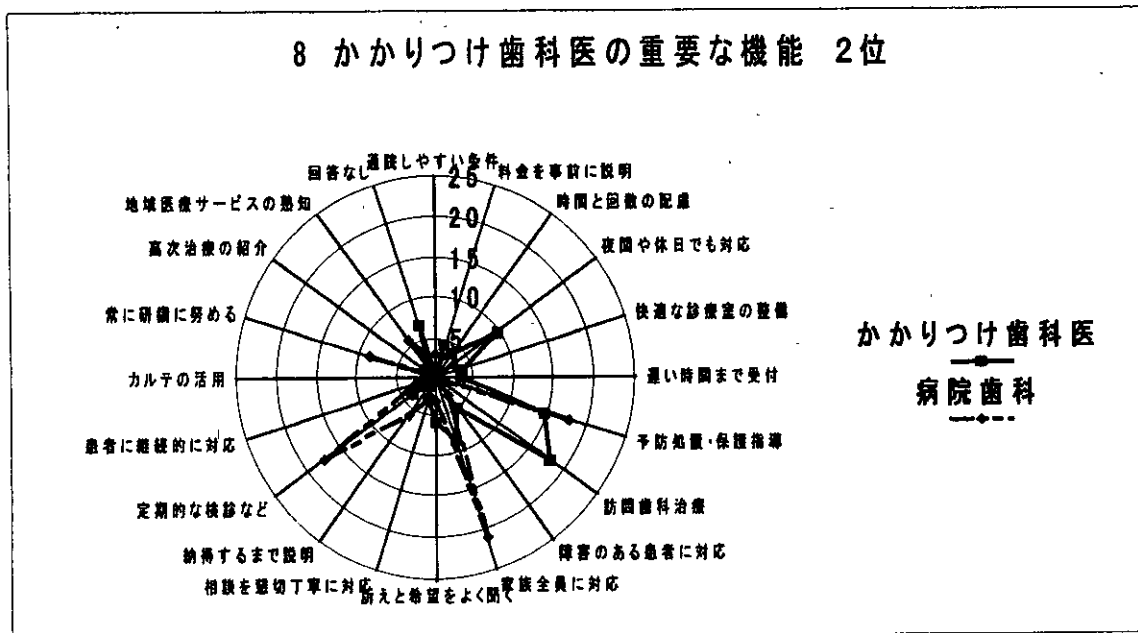
3. 病診連携を推進するうえでの、高次医療機関への紹介・依頼、地域保健医療福祉サービスに対する機能について重要な機能の下位になる傾向にあり、さらに病診連携、機能分担を推進するに当たり今後の課題であることが示唆される。

調査票Bでの、病院歯科の歯科医師に対するかかりつけ歯科医機能で重要な順位5位までとかかりつけ歯科医の5位までの比較した。



【結果】

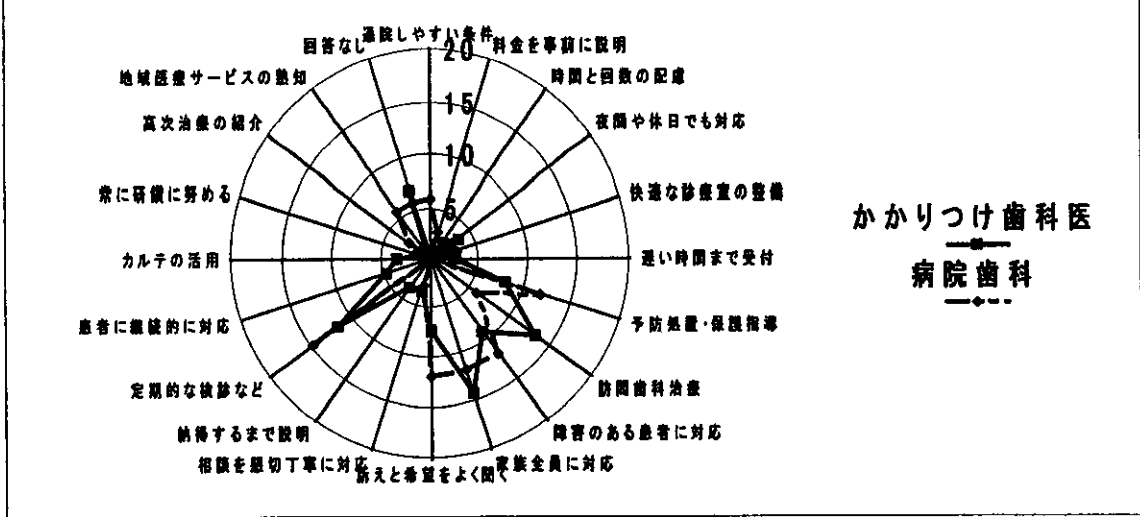
かかりつけ歯科医と病院歯科の歯科医でのかかりつけ歯科医の機能に対する考えでは、「通院しやすい条件」、「夜間や休日の対応」で一致したが、他では一致していない。



【結果】

予防処置・保護指導でやや一致しているが、他は一致していない。

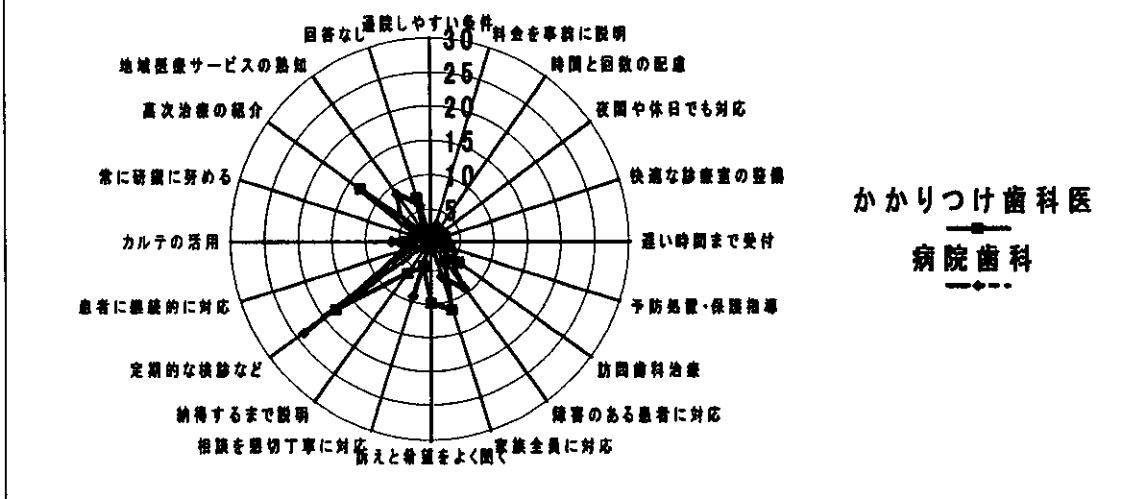
8 かかりつけ歯科医の必要な機能 3位



【結果】

3位では、「予防処置・保護処置」、「家族全員に対応」、「定期的な検診」でやや一致した。

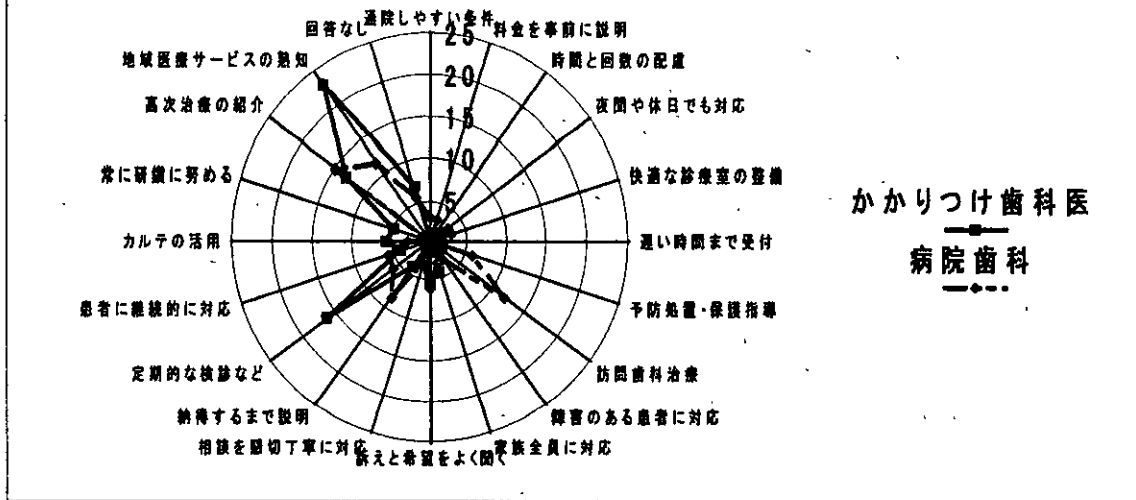
8 かかりつけ歯科医の必要な機能 4位



【結果】

4位では、「定期的な検診」のみ一致した。

8 かかりつけ歯科医の必要な機能 5位



【結果】

5位では、「高次治療の紹介」のみ一致した。

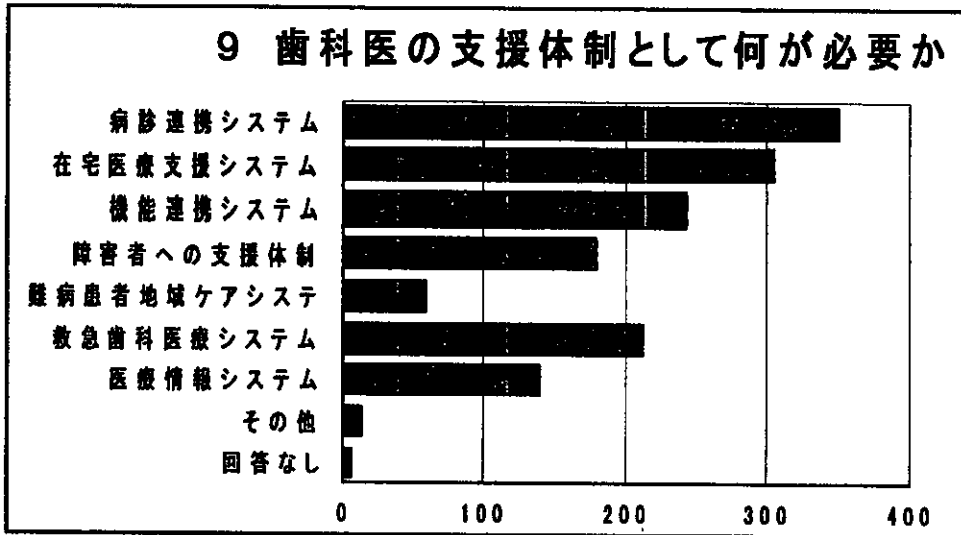
かかりつけ歯科医と病院歯科の歯科医では、将来に向けてのかかりつけ歯科医に必要な機能についての考えの相違が大きい。

【考察】

かかりつけ歯科医と病院歯科の歯科医では、将来に向けた必要な機能に対する考えが大きく異なり、病診連携、機能分担の推進には双方のコンセンサスをさらに図る必要が示唆される。

設問9 かかりつけ歯科医の支援体制として次のうち何が必要とされますか。

(複数回答)



設問 9	病院連携システム	在宅医療支援システム	福祉・保健施設との機能連携システム	障害者への保健・福祉の支援	難病患者地域ケアシステム	救急歯科医療体制	医療情報システム	その他	回答なし	回答者数
村上保健医療圏	19	15	14	8	3	10	8	1	1	20
新発田保健医療圏	44	48	40	28	10	35	30	5	1	71
新津保健医療圏	37	32	30	21	7	22	15	0	1	48
新潟保健医療圏	82	69	47	36	13	42	29	2	2	102
巻・三条保健医療圏	65	54	50	35	9	43	20	4	1	87
長岡保健医療圏	16	19	9	13	3	9	8	1	1	28
小出保健医療圏	19	13	12	9	4	15	10	1	0	25
六日町保健医療圏	10	5	6	3	1	3	0	0	0	12
十日町保健医療圏	14	11	5	5	1	12	3	0	0	17
柏崎保健医療圏	9	9	7	6	4	5	4	0	1	12
上越保健医療圏	26	20	15	10	4	13	9	2	0	32
糸魚川保健医療圏	4	4	3	2	0	0	1	0	1	6
佐渡保健医療圏	6	8	7	6	3	4	5	0	0	10
回答なし	2	0	1	0	0	2	0	0	0	3
合計	353	307	246	182	62	215	142	16	9	473
(よこ%)										
	病院連携システム	在宅医療支援システム	福祉・保健施設との機能連携システム	障害者への保健・福祉の支援	難病患者地域ケアシステム	救急歯科医療体制	医療情報システム	その他	回答なし	回答者数
村上保健医療圏	95	75	70	40	15	50	40	5	5	100
新発田保健医療圏	62	67.6	56.3	39.4	14.1	49.3	42.3	7	1.4	100
新津保健医療圏	77.1	68.7	62.5	43.8	14.8	45.8	31.3	0	2.1	100
新潟保健医療圏	80.4	67.6	46.1	35.3	12.7	41.2	28.4	2	2	100
巻・三条保健医療圏	74.7	62.1	57.5	40.2	10.3	49.4	23	4.6	1.1	100
長岡保健医療圏	57.1	67.9	32.1	46.4	10.7	32.1	28.8	3.6	3.6	100
小出保健医療圏	76	52	48	36	16	60	40	4	0	100
六日町保健医療圏	83.3	41.7	50	25	8.3	25	0	0	0	100
十日町保健医療圏	82.4	64.7	29.4	29.4	5.9	70.6	17.6	0	0	100
柏崎保健医療圏	75	75	58.3	50	33.3	41.7	33.3	0	8.3	100
上越保健医療圏	81.3	62.5	46.9	31.3	12.5	40.6	28.1	6.3	0	100
糸魚川保健医療圏	66.7	66.7	50	33.3	0	0	16.7	0	16.7	100
佐渡保健医療圏	60	80	70	60	30	40	50	0	0	100
回答なし	66.7	0	33.3	0	0	66.7	0	0	0	100
回答者数	74.6	64.9	52	38.5	13.1	45.5	30	3.4	1.9	100

【結果】

「病診連携システムが必要」 74.6%

「在宅医療支援システムが必要」 64.9%

「機能連携システムが必要」 52.0% の順で高かった。

* 医療圏別では、ほとんどの医療圏で、「病診連携システムが必要」、「在宅医療支援システムが必要」が 1,2 位を占めたが、小出保健医療圏では、「救急歯科医療体制」が 60.0% と高く、2 位を示した。

【考察】

1. 病診連携システムの必要性が各医療圏とも高く（57.1～95.0%）求められている。
2. 在宅歯科往診診療は地区歯科医師会を中心に全県下で実施されているが、在宅診療では対処できない症例や全身管理の難しい症例の支援体制として在宅医療システムの必要性が挙げられているものとする。
3. 病院歯科調査票 B で歯科の病診連携について、「取り決meを行っている」1/34 件、「実質的には行っている」16/34 件で、何らかの形で半数の病院歯科が病診連携を行っている。後方支援では「在宅患者の入院治療」3/34 件であった。病院歯科の実状とかかりつけ歯科医との間には大きな差があり、病院歯科の対応の充実が必要であるとする。

病院歯科調査票 B より

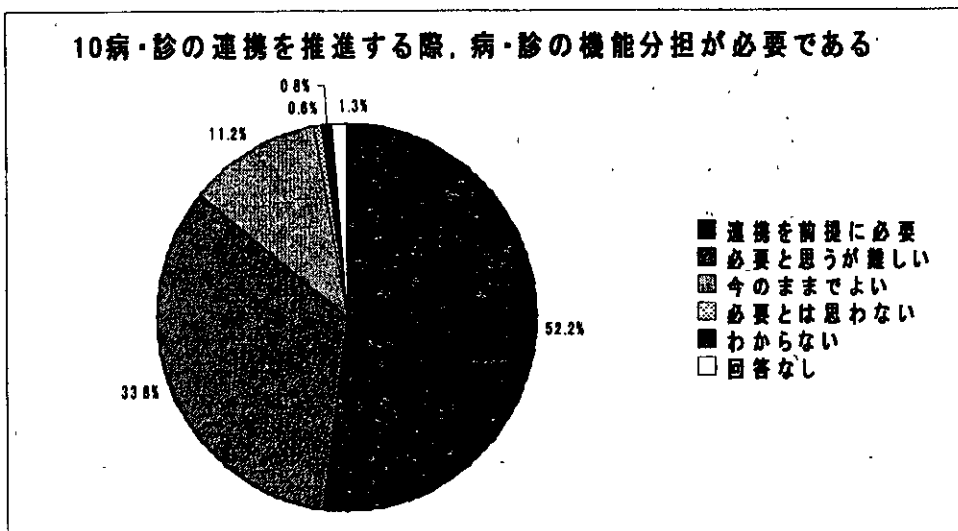
歯科の病診連携を行っているか

取り決めて行っている	1
実質的に行っている	16
行っていない	17
合計（病院歯科数）	34

在宅歯科医療の後方支援を行っているか

行っていない	16
在宅患者の入院治療	3
その他	3
回答なし	6
合計（病院歯科数）	28

設問 10 「病院歯科（病）と開業歯科医師（診）の連携を推進する際、病・診の機能分担が必要である」ということについてどう思いますか。



設問 10	「連携」の前提としてぜひ必要である	必要と思うが実際には難しい	今のままでよい	必要とは思わない	わからない	回答なし	合計
村上保健医療圏	14	5	1	0	0	0	20
新発田保健医療圏	36	26	9	0	0	0	71
新津保健医療圏	25	16	6	0	0	1	48
新潟保健医療圏	47	39	12	0	1	3	102
巻・三条保健医療圏	44	29	11	1	1	1	87
長岡保健医療圏	16	9	2	0	1	0	28
小出保健医療圏	11	11	2	1	0	0	25
六日町保健医療圏	11	1	0	0	0	0	12
十日町保健医療圏	9	5	1	0	1	1	17
柏崎保健医療圏	6	4	1	1	0	0	12
上越保健医療圏	18	10	4	0	0	0	32
糸魚川保健医療圏	3	1	2	0	0	0	6
佐渡保健医療圏	7	2	1	0	0	0	10
回答なし	0	2	1	0	0	0	3
合計	247	160	53	3	4	6	473
(よこ%)							
	「連携」の前提としてぜひ必要である	必要と思うが実際には難しい	今のままでよい	必要とは思わない	わからない	回答なし	合計
村上保健医療圏	70	25	5	0	0	0	100
新発田保健医療圏	50.7	36.6	12.7	0	0	0	100
新津保健医療圏	52.1	33.3	12.5	0	0	2.1	100
新潟保健医療圏	46.1	38.2	11.8	0	1	2.9	100
巻・三条保健医療圏	50.8	33.3	12.6	1.1	1.1	1.1	100
長岡保健医療圏	57.2	32.1	7.1	0	3.6	0	100
小出保健医療圏	44	44	8	4	0	0	100
六日町保健医療圏	91.7	8.3	0	0	0	0	100
十日町保健医療圏	52.9	29.4	5.9	0	5.9	5.9	100
柏崎保健医療圏	50.1	33.3	8.3	8.3	0	0	100
上越保健医療圏	56.2	31.3	12.5	0	0	0	100
糸魚川保健医療圏	50	16.7	33.3	0	0	0	100
佐渡保健医療圏	70	20	10	0	0	0	100
回答なし	0	66.7	33.3	0	0	0	100
合計	52.3	33.8	11.2	0.6	0.8	1.3	100

【結果】

「連携」の前提としてぜひ必要であるが 52.3%と過半数を示した。また、「必要と思うが実際には難しい」との回答が 33.8%あった。

*医療圏別では、六日町保健医療圏が 91.7%、村上・佐渡保健医療圏が 70.0%効率であるが、新潟保健医療圏では 46.1%と低い。

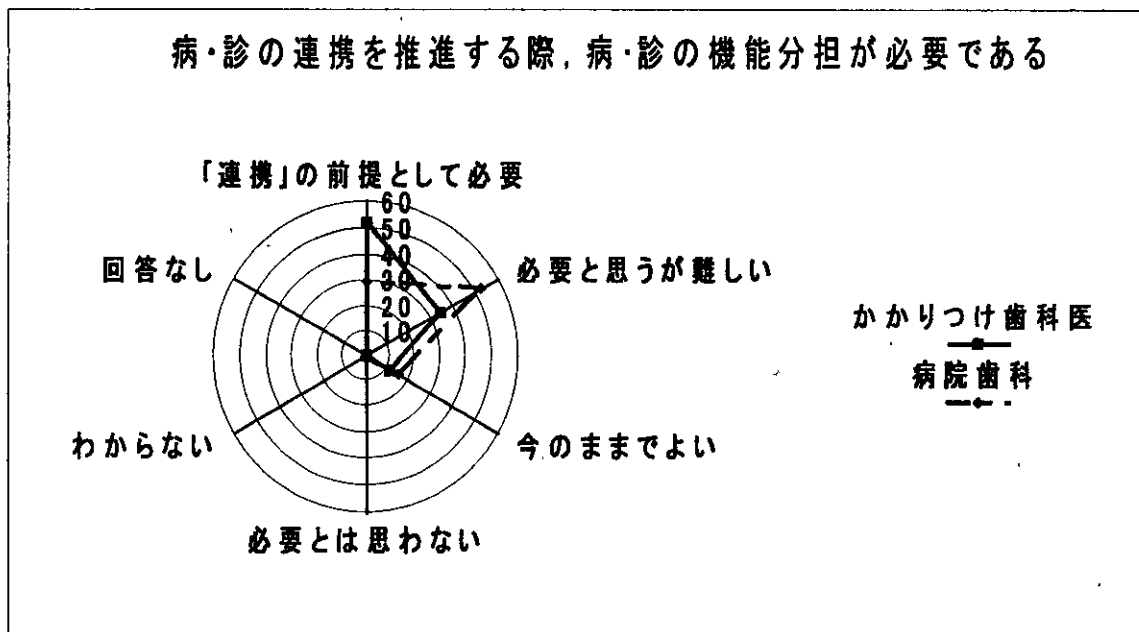
【考察】

1. 「連携」の前提としてぜひ必要である、必要と思うが実際には難しいとの回答が 86.18%を占め、いずれにせよ機能分担の必要性が求められている。

2. 病院歯科における「病・診の機能分担が必要である」ということに対する回答では

「病・診連携」の前提として必要であるが 1/3 であり、「実際には難しい」、「今のままでよい」と病診連携に消極的な回答が多い。

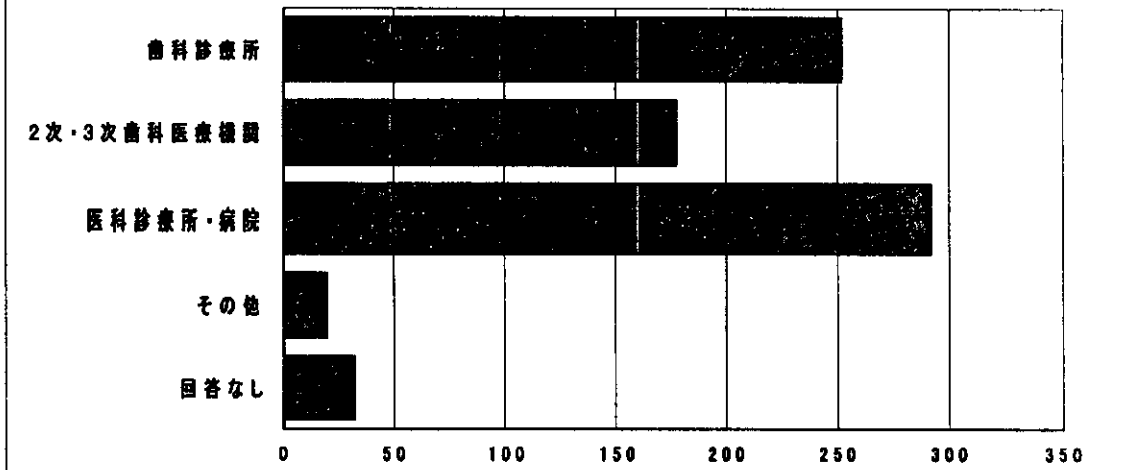
「病・診連携」の前提として必要	10
実際には難しい	18
今のままでよい	5
必要とは思わない	1
合 計 (病院歯科数)	34



病診連携の機能分担に対するかかりつけ歯科医と病院歯科では、かかりつけ歯科医は「連携」の前提として必要とする回答が多いが、病院歯科では必要と思うが難しいとする回答が多く、病診連携の推進に対する相違がみられるが、現状維持である「今のままでよい」は両者ともに少数である。

設問 11 これまでに、他の医療機関等から患者紹介や処置依頼があったその紹介もとの内訳はいずれですか。(複数回答)

11他の医療機関等から患者紹介や処置依頼があったその紹介元の内訳



設問 11	歯科診療所	2次・3次の歯科医療機関	医科診療所・病院	その他	回答なし	回答者数
村上保健医療圏	10	8	11	1	0	20
新発田保健医療圏	40	29	44	1	7	71
新津保健医療圏	22	20	30	2	3	48
新潟保健医療圏	62	43	62	5	8	102
巻・三条保健医療圏	44	32	52	5	6	87
長岡保健医療圏	19	6	19	0	2	28
小出保健医療圏	15	6	13	3	2	25
六日町保健医療圏	6	7	7	0	1	12
十日町保健医療圏	8	4	17	0	0	17
柏崎保健医療圏	6	4	8	0	0	12
上越保健医療圏	15	14	22	3	0	32
糸魚川保健医療圏	0	2	2	1	2	6
佐渡保健医療圏	5	4	4	0	2	10
回答なし	1	0	2	0	0	3
合計	253	179	293	21	33	473
(よこ%)						
	歯科診療所	2次・3次の歯科医療機関	医科診療所・病院	その他	回答なし	回答者数
村上保健医療圏	50	40	55	5	0	100
新発田保健医療圏	56.3	40.8	62	1.4	9.9	100
新津保健医療圏	45.8	41.7	62.5	4.2	6.3	100
新潟保健医療圏	60.8	42.2	60.8	4.9	7.8	100
巻・三条保健医療圏	50.6	36.8	59.8	5.7	6.9	100
長岡保健医療圏	67.9	21.4	67.9	0	7.1	100
小出保健医療圏	60	24	52	12	8	100
六日町保健医療圏	50	58.3	58.3	0	8.3	100
十日町保健医療圏	47.1	23.5	100	0	0	100
柏崎保健医療圏	50	33.3	66.7	0	0	100
上越保健医療圏	46.9	43.8	68.8	9.4	0	100
糸魚川保健医療圏	0	33.3	33.3	16.7	33.3	100
佐渡保健医療圏	50	40	40	0	20	100
回答なし	33.3	0	66.7	0	0	100
回答者数	53.5	37.8	61.9	4.4	7	100

【結果】

「医科診療所・病院」37.6%、「歯科診療所」32.5%、「2次・3次歯科医療機関」23.0%の順であった。

*医療圏別では、佐渡保健医療圏を除き、「医科診療所・病院」が他に比較し割合が高い。

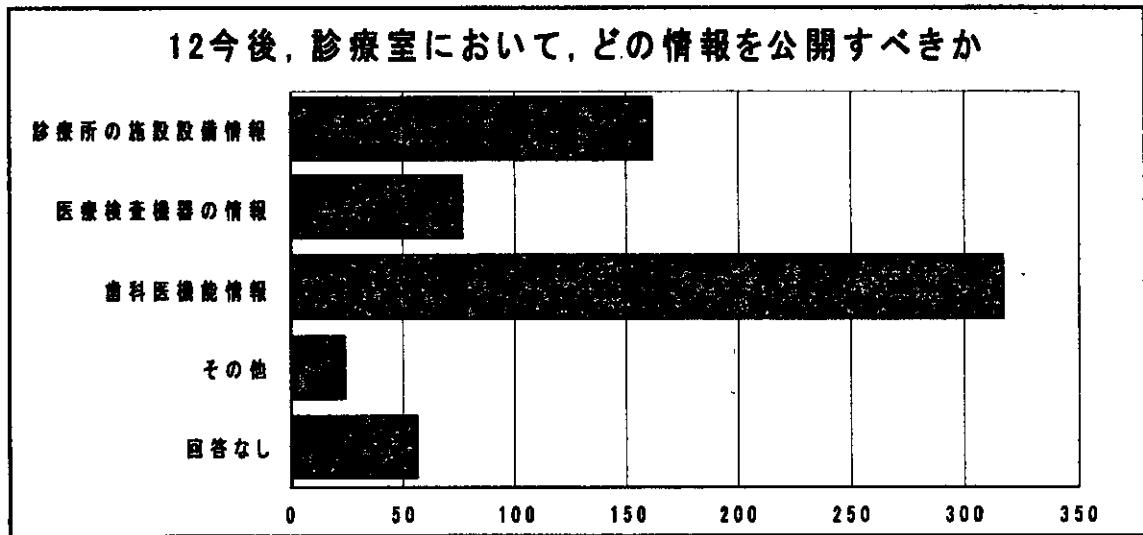
長岡，小出，十日町の隣接する3保健医療圏では、「2次・3次歯科医療機関」からの紹介等が割合が小さい

【考察】

1. 「医科診療所・病院」が37.6%と一番多く，歯科と医科の連携が行われている。
2. 「歯科診療所」が32.5%と次に多く，地区歯科医療システムによる連携も行われている。
3. 「2次・3次歯科医療機関」は23.0%であり，2次歯科医療機関の施設数が影響しているものとする。

設問 12 あなたの診療室において，今後次のどの情報を公開すべきだと思いですか。

(複数回答)



設問 12	診療所の施設整備情報	医療検査機器の情報	かかりつけ歯科医機能情報	その他	回答なし	回答者数
村上保健医療圏	8	7	15	0	1	20
新発田保健医療圏	27	15	50	5	9	71
新津保健医療圏	21	8	35	3	4	48
新潟保健医療圏	29	14	69	4	15	102
巻・三条保健医療圏	31	14	59	3	11	87
長岡保健医療圏	10	1	16	4	3	28
小出保健医療圏	8	5	13	3	4	25
六日町保健医療圏	2	1	7	1	3	12
十日町保健医療圏	7	4	11	1	0	17
柏崎保健医療圏	3	1	6	2	3	12
上越保健医療圏	10	4	25	0	2	32
系魚川保健医療圏	1	1	4	0	2	6
佐渡保健医療圏	4	3	8	0	0	10
回答なし	2	0	0	0	1	3
合計	163	78	318	26	58	473
(よこ%)						
	診療所の施設整備情報	医療検査機器の情報	かかりつけ歯科医機能情報	その他	回答なし	回答者数
村上保健医療圏	40	35	75	0	5	100
新発田保健医療圏	38	21.1	70.4	7	12.7	100
新津保健医療圏	43.8	16.7	72.9	6.3	8.3	100
新潟保健医療圏	28.4	13.7	67.6	3.9	14.7	100
巻・三条保健医療圏	35.6	16.1	67.8	3.4	12.6	100
長岡保健医療圏	35.7	3.6	57.1	14.3	10.7	100
小出保健医療圏	32	20	52	12	16	100
六日町保健医療圏	16.7	8.3	58.3	8.3	25	100
十日町保健医療圏	41.2	23.5	64.7	5.9	0	100
柏崎保健医療圏	25	8.3	50	16.7	25	100
上越保健医療圏	31.3	12.5	78.1	0	6.3	100
系魚川保健医療圏	16.7	16.7	66.7	0	33.3	100
佐渡保健医療圏	40	30	80	0	0	100
回答なし	66.7	0	0	0	33.3	100
回答者数	34.5	16.5	67.2	5.5	12.3	100

【結果】

「かかりつけ歯科医機能情報（在宅、障害者診療等）」が49.5%、「診療所の施設設備情報」が25.3%であった。

【考察】

1. 「かかりつけ歯科医機能情報（在宅、障害者診療等）」が半数を占め、また、「診療所の施設設備（スロープ等の有無）」が次に続き、今後、医療消費者へのサービス提供の内容として在宅診療、障害者診療や高齢者への対応の拡充意識の高さやが示されているも

のと考える。

2. 一方、医療検査機器の情報の公開が12.1%みられ、高次医療機関の医療検査機器の活用を推進することを進めることが必要と考える。

3. 病院歯科調査票 A では院外医師がCT, MRI を利用できる施設が少なく、いわゆるセミオープンシステム型の病診連携システムは1/3程度で進んでいるとは言い難い。

院外医師はCT, MRI などを利用できるか

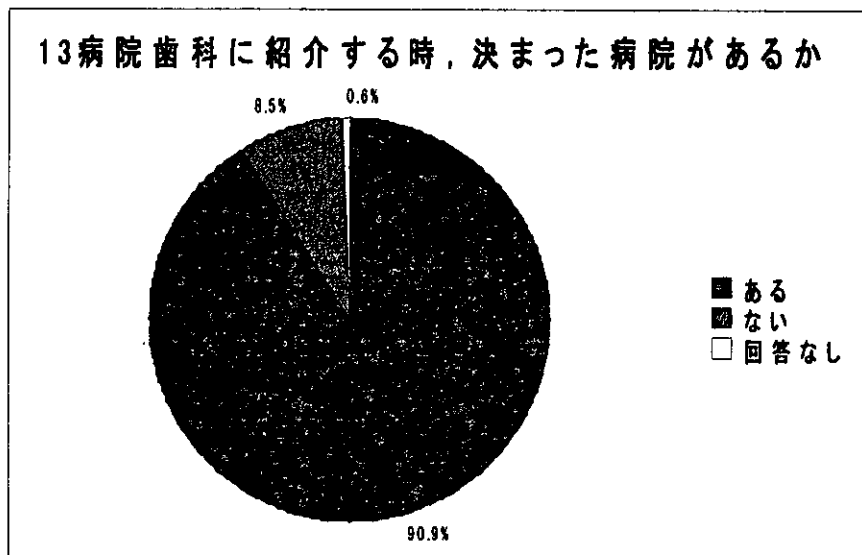
直接予約して利用	3
診療科を通して利用	8
利用できない	24
合計	34

院外の歯科医師も利用できるか

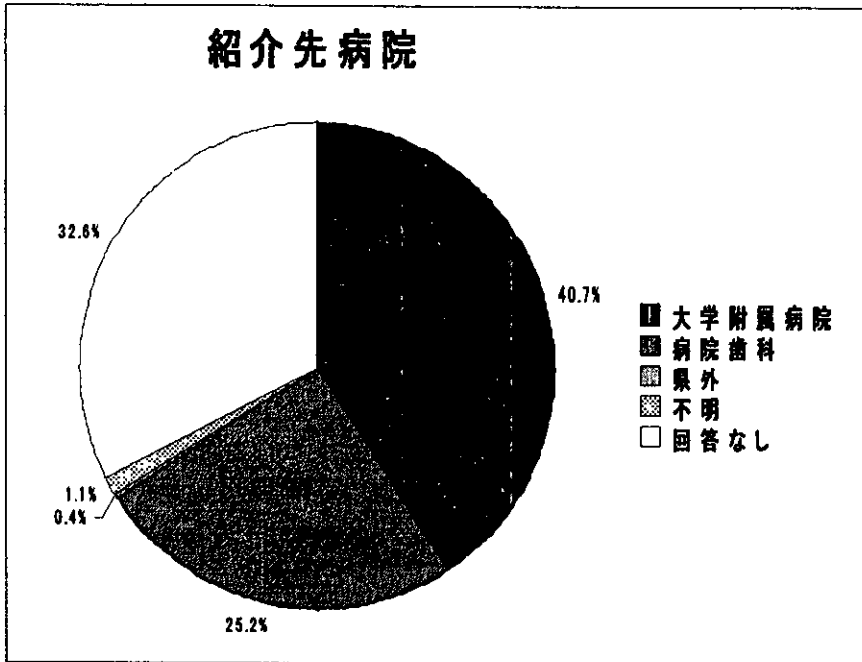
利用できる	10
できない	1
合計	11

(前の問いで利用できるかと回答した内で)

設問 13 病院歯科に紹介するのに、およそ決まった病院はありますか。

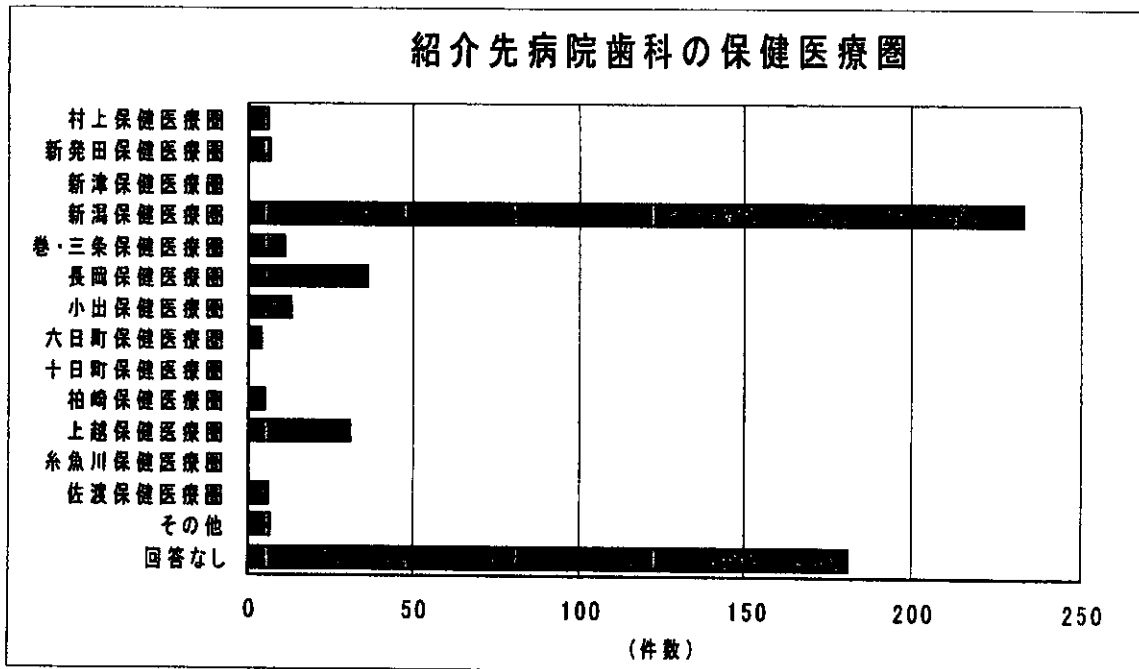


紹介先病院



(複数回答)

紹介先病院歯科の保健医療圏



(複数回答)

設問 13	ある	ない	回答なし	合 計
村上保健医療圏	14	6	0	20
新発田保健医療圏	66	5	0	71
新津保健医療圏	45	2	1	48
新潟保健医療圏	97	4	1	102
巻・三条保健医療圏	76	11	0	87
長岡保健医療圏	25	3	0	28
小出保健医療圏	23	2	0	25
六日町保健医療圏	10	2	0	12
十日町保健医療圏	14	3	0	17
柏崎保健医療圏	12	0	0	12
上越保健医療圏	30	2	0	32
糸魚川保健医療圏	6	0	0	6
佐渡保健医療圏	9	0	1	10
回答なし	3	0	0	3
合 計	430	40	3	473
(よこ%)				
	ある	ない	回答なし	合 計
村上保健医療圏	70	30	0	100
新発田保健医療圏	93	7	0	100
新津保健医療圏	93.7	4.2	2.1	100
新潟保健医療圏	95.1	3.9	1	100
巻・三条保健医療圏	87.4	12.6	0	100
長岡保健医療圏	89.3	10.7	0	100
小出保健医療圏	92	8	0	100
六日町保健医療圏	83.3	16.7	0	100
十日町保健医療圏	82.4	17.6	0	100
柏崎保健医療圏	100	0	0	100
上越保健医療圏	93.7	6.3	0	100
糸魚川保健医療圏	100	0	0	100
佐渡保健医療圏	90	0	10	100
回答なし	100	0	0	100
合 計	90.9	8.5	0.6	100

【結果】

1. 決まった紹介病院歯科が「ある」が90.9%であった。
 2. 紹介先病院歯科では、大学附属病院40.7%、病院歯科25.2%であった。
 3. 紹介先病院歯科の保健医療圏では、新潟保健医療圏が圧倒的に多い
- * 医療圏別では、村上保健医療圏が70.0%で「ある」が少ない。

【考察】

1. かかりつけ歯科医所在の保健医療圏の病院歯科よりもむしろ新潟保健医療圏の大学附属病院に紹介・依頼する傾向が高く、長岡、上越保健医療圏では、かかりつけ歯科医の要求を満たす病院歯科があるものと思われる。これは、設問 24 の大学附属病院に患者を紹介・依頼して経験が87.9%であることよりも示される。

設問 13-1 (あるとお答えの方に) 紹介病院を決めている主な理由は次のうちいずれですか。(複数回答)

